

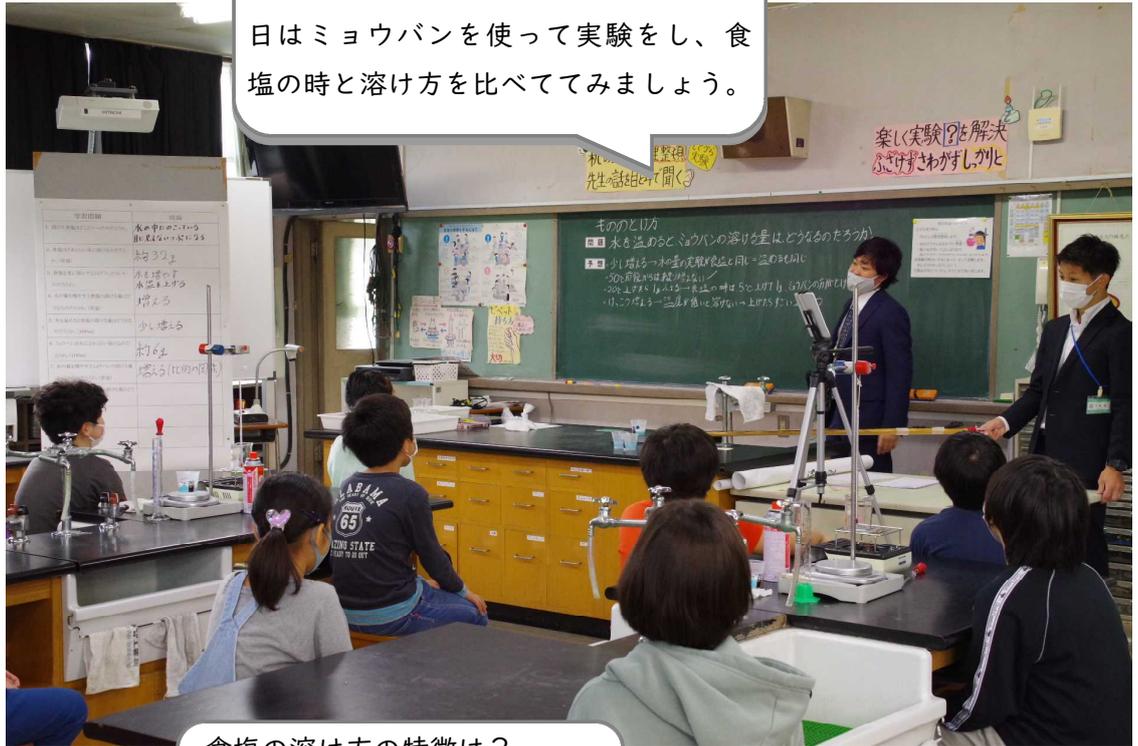
令和2年度 校内研究

第3回研究授業 5年1組 理科 M.R.教諭

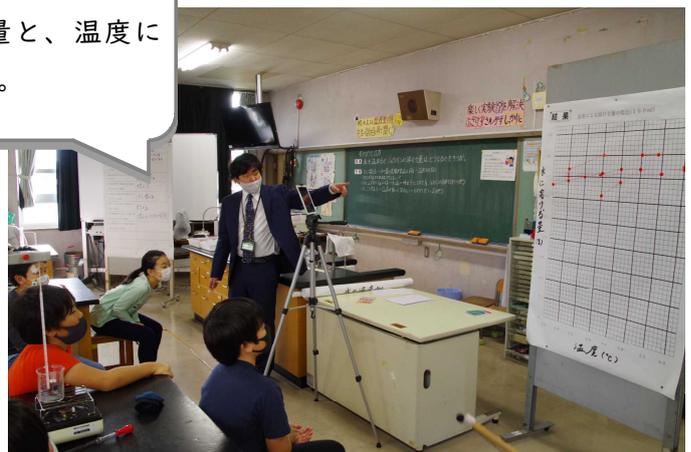
令和2年12月11日（金）

課題の設定

前回までに食塩を水に溶かす実験を行い、グラフにまとめてみました。今日はミョウバンを使って実験をし、食塩の時と溶け方を比べてみましょう。



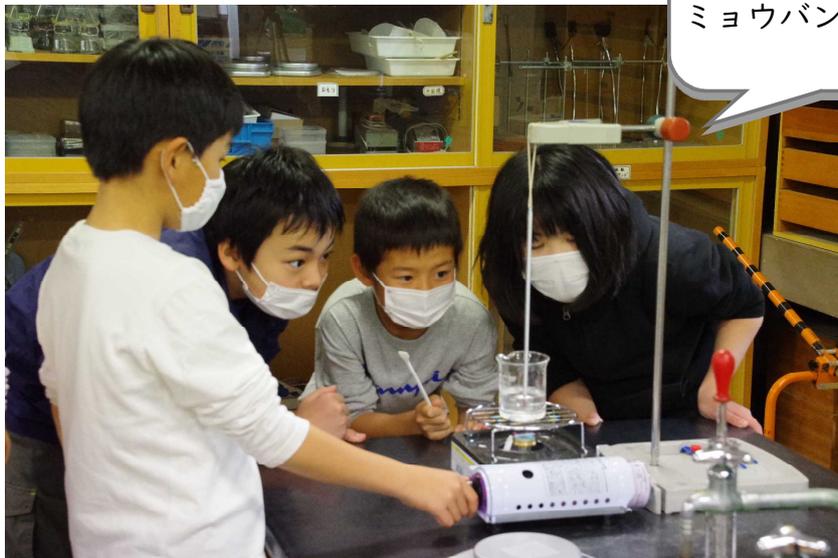
食塩の溶け方の特徴は？
そうですね。水の量と、温度によって変わりました。



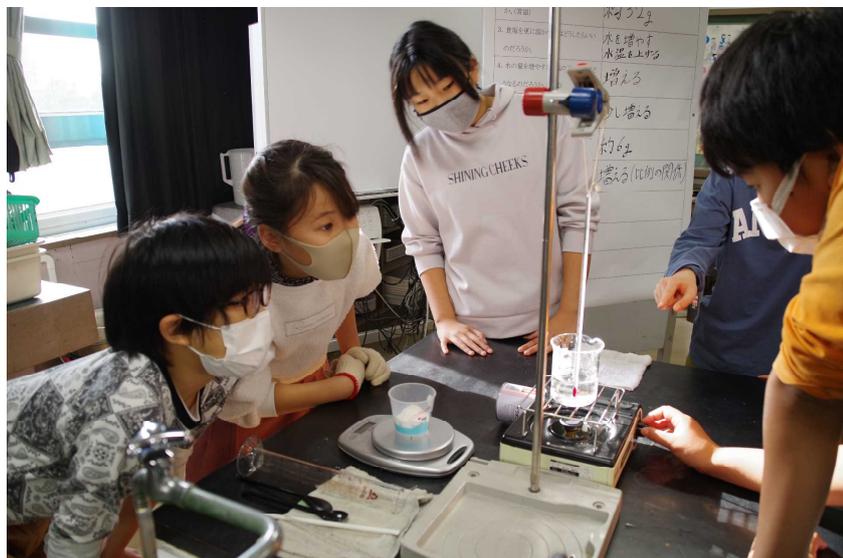
情報収集



安全面の確認をして、各グループ実験の準備を開始



温度が上がっていくと、溶け残った
ミョウバンが少なくなってるよ。



感染症拡大防止対策として、今回も
2/3の先生方は、別室にてリモート
参観をした



整理・分析



では、実験の結果をそれぞれのノートに
記録してください。グループの代表は、実
験結果を、グラフにシールで貼っていつ
てください。

グラフを見て、食塩の時との違いを考察
し、自分の言葉でまとめてみましょう。

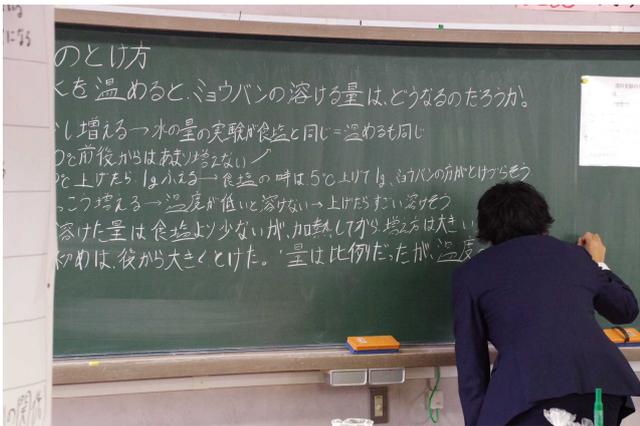


食塩の時のグラフとちがうなあ。
 食塩の時よりも、温度が上がっていった
 ときの溶ける量がぐんっと増えるね。



まとめ・表現

量は比例だったけど
 温度は比例じゃなかつた。
 ミヨウバンは熱に弱い。



ミョウバンの水に溶ける量は、温度が上がると増えていく、ということ。そして、その増え方は、職年の時と比べると急になっている、ということが分かりました。



研究協議会



3密を避け、今回も体育館で実施。



コロナ禍で、教員も含めて、別のメリットがあるので動画を受け入れ始めています。「もう先生はいらない！」実際、「知識・理解」の軽い部分は動画で十分ということになってきます。では、教員がやるのは何か？「思考・判断・表現」の部分ですね。これを習得させるのに**シンキング・サイクル**が有効だと考えられます。



講師は東京学芸大学教育学部准教授・高橋 純先生にお願いしました。

高橋先生は本校の講師を3年間引き受けていただいています。